

議題 2

第9期における保険料に 係る推計について

1 認定者の推計について

- 第9期については、国が提供している介護保険料推計システム「見える化システム」にて認定者数を算出しました。

2 認定者の実績について

	H30	R1	R2	R3	R4	R5
認定者数	16,799人	17,557人	18,101人	18,413人	18,857人	19,748人
前年比	—	104.5%	103.1%	101.7%	102.4%	104.7%

※10月1日現在の数値

3 認定者の推計の考え方について

- 実績値を踏まえて、次の3つの推計パターンを比較しました。
 - ①令和4年度から令和5年度の実績値の変化が第9期も続く
 - ②令和5年度の実績値の割合を第9期の人口推計に反映したもの
 - ③令和3年度から令和5年度の実績値の変化の2分の1が第9期も続く

4 各パターンの数値について

①令和4年度から令和5年度の実績値の変化が第9期も続く

	R5	R6	R7	R8
認定者数	19,748人	20,608人	21,326人	21,997人
前年比	—	104.4%	103.5%	103.1%

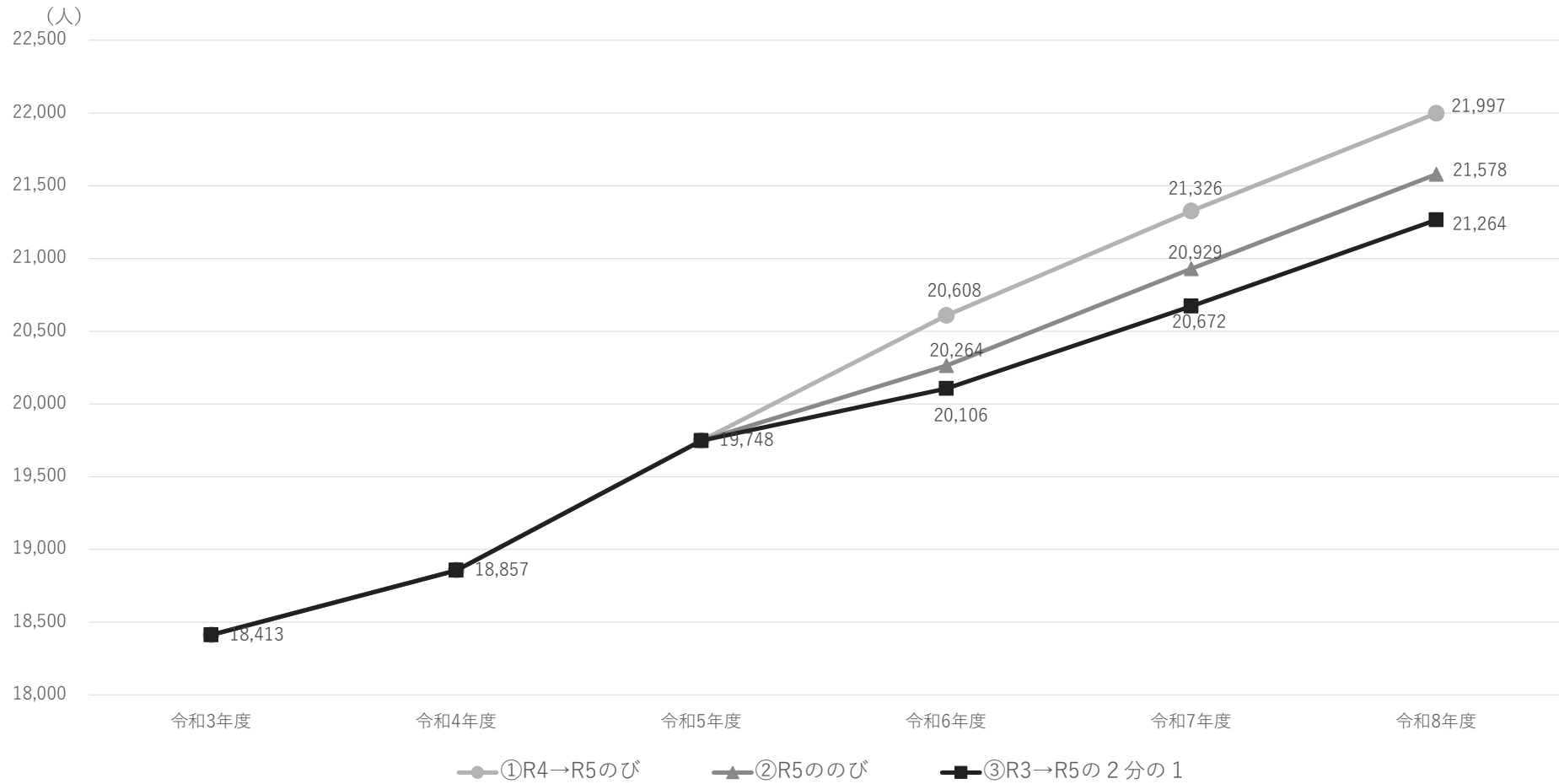
②令和5年度の実績値の割合を第9期の人口推計に反映したもの

	R5	R6	R7	R8
認定者数	19,748人	20,264人	20,929人	21,578人
前年比	—	102.6%	103.3%	103.1%

③令和3年度から令和5年度の実績値の変化の2分の1が第9期も続く

	R5	R6	R7	R8
認定者数	19,748人	20,106人	20,672人	21,264人
前年比	—	101.8%	102.8%	102.8%

5 各パターンの比較について



6 認定者の推計の方針について

- ・採用するパターン

- ②令和5年度の実績値の割合を第9期の人口推計に反映したもの

- ・理由

令和2年度から令和4年度までは、新型コロナウイルスの影響等で認定者数があまり増加しなかったと考えられるので、第9期の推計には含めないのが妥当と考えられること。

令和5年度実績値を見ると、近年に比べ認定者数が増加傾向であること。

⇒過去3年間の実績値を含め算出するのではなく、令和5年度の伸びを見て、今後の人口推計に反映することで他の推計パターンと比較し、今後の変化に対応できると考えます。